



創発的研究支援事業
Innovation Oriented Research for Disruptive Science and Technology

資料 1 - 4
科学技術・学術審議会
基礎研究振興部会（第13回）
令和6年1月17日

創発的研究支援事業 令和5年度補正予算 令和6年度予算（案） について

令和6（2024）年1月

研究振興局
学術研究推進課



創発的研究支援事業

令和6年度予算額（案）	0.6億円
（前年度予算額）	2億円
令和5年度補正予算額	6億円



文部科学省

自由で挑戦的・融合的な構想に、リスクを恐れず挑戦し続ける独立前後の多様な研究者を対象に、最長10年間の安定した研究資金と、研究者が研究に専念できる環境の確保を一体的に支援する。

応募要件：大学等における独立した／独立が見込まれる研究者

- 博士号取得後15年以内（出産・育児等ライフイベント経験者は別途要件緩和）

今後の採択予定件数：合計750件程度

※ 公募回数は3回程度を想定

注：令和4年度までに3回の公募を実施（令和2年度に第1回公募を実施）

事業の特徴

(700万円/年(平均)+間接経費) × 7年間(最長10年間)の長期的な研究資金

- 研究の進捗や研究者の環境等に応じ機動的に運用。
- **バイアウト制度**(研究以外の業務の代行に係る経費を支出可能)のほか、研究代表者の人件費(PI人件費)を支出できる仕組みを先行的に導入。
- 研究開始から3年目、7年目にステージゲート審査を設け、研究の進捗等を評価。



研究環境改善のための追加支援

- 採択研究者の研究時間確保など環境改善に努めた所属機関を追加的に支援し、取組を引き出す。
- 研究の進捗等に応じた、**博士課程学生等へのRA支援**による研究加速を図る。



「創発の場」の形成

- POによるマネジメントの下、採択研究者同士が互いに切磋琢磨し相互触発する場を提供。



優れた人材の意欲と研究時間を最大化し、研究に専念 ⇒ 破壊的イノベーションにつながる成果へ

関連閣議決定文書

令和5年度補正予算及び令和6年度予算額のポイント

- 創発研究者を**リサーチアシスタント (RA) として支える博士課程学生等に対する支援**（第4回公募の創発研究者に対する支援分）

- **経済財政運営と改革の基本方針2023（令和5年6月16日閣議決定）**
破壊的イノベーションの創出に向け、林立・複雑化した研究資金を不断に見直しつつ、基礎研究や、初期の失敗を許容し長期に成果を求める研究開発助成制度³¹⁰を、ステージゲート等の評価を着実に先行しながら、更に充実・推進する。
310 ムーンショット型研究開発制度、創発的研究支援事業等。
- **新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2023改訂版（令和5年6月16日閣議決定）**
挑戦的な研究を行う若手研究者に対し、最長10年間の長期的な研究費を支給するとともに、所属機関において研究に専念できる環境を確保するための措置を一体的に行うスキーム（創発的研究支援事業）について、研究環境を充実させた上で、着実に進める。

（担当：研究振興局学術研究推進課）

令和5年度（第4回）公募について



第4回公募のスケジュール

募集開始	令和5年8月23日（水）
受付締切	10月25日（水）
書類選考	10月下旬～令和6年2月下旬
面接選考	3月上旬～5月上旬
選定課題の通知・発表	5月中旬以降 順次通知・発表
研究開始	10月以降開始

研究環境整備支援について

公募に当たっての文部科学大臣メッセージ（抜粋）

文部科学省では、若手を中心とした研究者に、これまでに類をみない最長10年にわたる研究資金と、研究に専念できる環境の整備を一体的に支援する新たな事業を創設しました。（中略）選ばれた研究者が思う存分その能力を発揮できるよう、所属機関が研究環境の整備に努めることを期待するとともに、科学技術振興機構を中心に関係者がきめ細かな支援を行うこととしています。

- **今年度、研究機関が創発研究者（研究開始3年目を迎える1期生）に対して実施した研究環境の改善内容を審査し、研究環境改善のための支援額*を研究機関毎に決定します。**

* 1機関あたり最大5,000万円/期

○ 今後のスケジュール（予定）

令和5年11月	各研究機関への調査票配布
令和6年2月	調査票の提出締切
令和6年4～5月頃	調査票内容確認
令和6年6月頃	配分額通知